

環境事業の総合商社を目指して 社会貢献します

株式会社多摩川ホールディングス

代表取締役社長 柵沢 徹

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、誠にありがとうございました。年頭にあたり、感念の思いと共々、あらためて長に向けた決意とご挨拶を申し上げます。

を申し上げます。



当社は東日本大震災前の2010年10月に「太陽光エネルギー事業準備室」を新設して本年で7年目を迎えます。皆様のお力添えのおかげと、深く感謝しております。

昨年は、自社運営による太陽光発電所に加えて、税制優遇の活用や投資利回り商品として世間に広く認知された「太陽光発電所の設備販売」を金融機関や税務コンサルタント会社を通じて全国20か所で合計14メガワットの販売を致しました。金融・会計出身の社員が多い当社の特徴を活かした販売力を発揮した成果でした。更に昨年8月には、責務員の三沢太陽光発電所で「当社初のプロジェクト・ファイナンス」を実行し、共同出資型の大型太陽光発電所スキームを確立いたしました。

本年は「環境事業の総合商社を目指す」をスローガンに掲げ、地熱バイナリー発電所と小型風力発電所の事業化を目指しています。さらにはハイオックス発電、小水力発電、水素電力事業などの二酸化炭素排出量ゼロの環境ビジネスの事業化に向けても研究を重ねてまいります。

当社が環境事業の総合商社になる事が、地球温暖化や日本のエネルギー自給率の向上につながることを信じ、本年も大いに社会貢献に邁進してまいります。今後も我々の活動にご期待を頂ければ幸いです。

本年が皆様様に幸多い年となりますよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。